



平成30年度 第7回研究助成 成果発表大会

2018.12.1 (土) 13:00▶17:15

(開場 12:30)

- 場所:兵庫県私学会館 (〒650-0012 神戸市中央区北長狭通4-3-13)
- 大会参加費:無料 ●情報交換会参加費:1,000円

優れた教育実践を生み出すためには、そのバックグラウンドとなる研究の深化・拡大が必要です。未来教育研究所では、明日の教育発展が期待される教育実践の研究に対して助成を行っています。また、それらの成果を実際に学校で実践してもらい、その有効性を実際に検証していく取り組みも併せて行っています。

これらの事業は、新しい視点を持つ若手研究者の研究を奨励し、その成果を教育の現場に反映すべく、全校体制で取り組んでいただき、教育に携わる教員と研究者が一丸となって、そのプロセスや成果について広く検証・公開することで、教育を充実・発展させていくことを目的としています。

主体的・対話的で深い学び、
道徳教育、主権者教育、環境問題、
看護学、キャリア教育、ICT活用、
学びのコミュニティの創造から、
学力を支える非認知能力育成まで、
幅広い研究成果が報告されます。
ぜひご来場ください！

- 1 平成30年度研究助成(第8回)審査結果発表、研究所推進研究・取組紹介 (13:00~)
- 2 平成29年度研究助成(第7回)採択者による研究成果発表等[13編] (14:00~)
※複数会場同時進行、研究成果発表の内容は裏面参照
- 3 情報交換会 (16:15~17:15) 研究発表者との懇親を図ります。お気軽にご参加ください。

お申し込み方法 お申し込み締切:2018年11月28日

メール又はファックスにて下記「参加申込書」の必要事項をお知らせください。



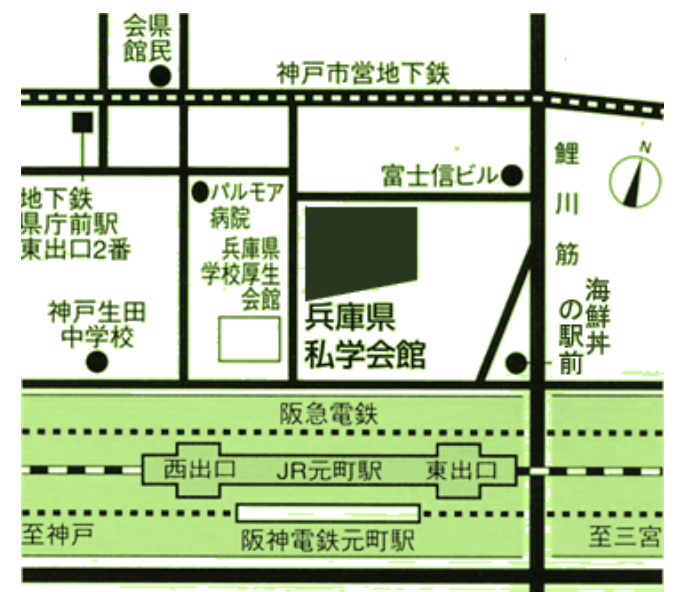
info@mirai-kyoiku.or.jp へ
件名「研究発表大会参加申込」とし、
下記必要事項お知らせください。



下記「参加申込書」にご記入の上、
FAX 078-333-7612へ、ご送信ください。
鑑文は必要ありません。

【研究発表大会 参加申込書】

所属 (TEL)	職名	(ふりがな) 名前	参加区分 (該当に○)	
			研究大会	情報交換会
(TEL)				
(TEL)				
(TEL)				



※ 情報交換会参加費は当日会場にてお支払いください。11月28日締切後の情報交換会のキャンセルはご遠慮ください。

お問い合わせ

公益財団法人未来教育研究所 研究大会事務局

TEL:078-333-7611 FAX:078-333-7612 Email:info@mirai-kyoiku.or.jp

第7回 未来教育研究所 研究助成成果発表大会

賞	個人・G	氏名	タイトル	所属
優良賞	G	石川 亮	作物としてイネの成立を学ぶ アクティブラーニング教材の開発	神戸大学大学院 農学研究科
優良賞	G	寺岡 浩平	通信制高校における自宅学習の充実を 目指した「Chromebook」の活用	NHK 学園高等学校
奨励賞	G	阿曾 奈生	価値を創造する道德の授業づくりに 関する実践研究	宍粟市立神野小学校
奨励賞	個人	池田 拓也	地域と学校がつながる授業 ー顔の見える関係を目指してー	灘高等学校
奨励賞	個人	北村 優弥	学校インターンシップの さらなる展開に向けて ー新学習指導要領の視点での事例報告ー	大阪体育大学大学院 スポーツ科学研究科
奨励賞	個人	熊井 直子	フィンランドの高等学校における 国語科の読書活動の実践について	小平市立 小平第五中学校
奨励賞	G	齋藤 あや	看護学というセカンドキャリア形成を 目指す速習教育プログラムの創生と評価	聖路加国際大学
奨励賞	個人	正村 あづさ	経験の意味づけを重視した大学の ライフ・キャリア教育の実践 ー授業デザインと「キャリアリフレク ションノート」の制作ー	慶應義塾大学大学院 政策メディア研究科
奨励賞	個人	高松 奈々	指導者のための主権者教育の教材開発 ー高等学校における教育実践ー	慶應義塾大学大学院 政策メディア研究科
奨励賞	G	谷脇 鉄平	環境 DNA を利用した淀川水系河川の 生物相（絶滅危惧種等）調査について	学校法人大阪学園 大阪高等学校
奨励賞	個人	笠沙 敏彦	初等中等教育における「主体的・対話的 で深い学び」のための数学教育カリキュ ラムの開発ーICT 機器を活用し数学的 モデリングの手法を用いた現実世界の 問題解決の体験を通してー	京都府 総合教育センター
奨励賞	個人	土居 亜貴子	「質問づくり (QFT)」を取り入れた 高等学校・歴史授業 ー主体的・対話的な深い学びの実現ー	兵庫県立 御影高等学校
理事長 特別賞	個人	井ノ上 ルミ子	看護専門学校教員の キャリアレジリエンスの実態と、 主観的職業威信による影響	大阪赤十字 看護専門学校

(賞ごと発表者名五十音順に掲載)

未来教育研究所 研究発表

未来教育研究所 推進研究報告	学力向上を支える非認知能力の育成： ソーシャルスキル・エモーショナルスキル・ アカデミックスキルの何をいつどのように育むか ー米国レスポンスブクラスルームの アプローチを題材にー	未来教育研究所 研究開発局長 高見佐知
-------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------

※ 発表時間（13時～16時）の内訳、発表会場（兵庫県私学会館内）等の詳細につきましては、
当日配布のプログラム及び、未来教育研究所のホームページに後日掲載し、ご案内します。